

Kakehashi いさはや

2021

Vol.4

令和3年11月発行



退院後も「その人らしい生活」を支える

寄り添い、ともに考え、支えるということ

Interview

患者家族に寄り添い、入院によって浮き彫りになった課題など、一緒に考えてくれる医療ソーシャルワーカーがいます。患者家族だけでなく、在宅生活を支える専門職とのかけはしとなり、安心して暮らせるよう退院調整を展開しています。今号は医療ソーシャルワーカーにスポットをあてお二人にお話を伺いました。

患者家族と専門職の「潤滑油」になる

MSWといえば、患者家族と専門職、時には専門職間のコーディネート役というイメージですが……

米倉 MSWにはつなぐだけでなく、代弁する役割もあると思います。患者様、ご家族それぞれに思いや価値観があります。専門職にも役割や価値観があります。双方の調和がとれないと、安定した生活はできません。そこを見定めて時には修正することもあります。それぞれの状況を俯瞰的に見ることがMSWには必要だと思います。

矢野 MSWは、患者と家族、患者と専門職など、双方の意見を聞き、双方に正しく伝える。合意を進める役割があります。それぞれの立場に寄り添いながら「潤滑油」的な役割です。そのためには医師、看護師、リハビリ、あらゆる職種について理解しておかないといけない。もちろん、患者家族のことも。関わる全ての人のことを知る必要があると思います。



西諫早病院
米倉 康佑

西諫早病院・医療連携室 社会福祉士
鎮西学院大学非常勤講師
長崎県医療ソーシャルワーカー協会会長

在宅医療の推進をといわれるようになって、「在宅へ」という意識の違いはありますか？

米倉 入院前の生活へという意識は昔から変わらずにあります。昔に比べると、介護サービスや社会資源も整って、在宅調整もしやすくなりました。ただ、老老介護など在宅に帰れない方が増えているのも現状です。

矢野 地域包括ケア病棟がありますが、在宅医療・介護を推進、円滑にしていくためにも、この病棟をうまく利用する必要があると思います。そのためにも、開業医の先生方や地域に向けて、情報を発信しないといけないですね。



退院調整する際に、患者さんが抱える課題は複雑になっているように感じますか？

米倉 老老介護や独居など社会的課題が多く、複雑化しているように感じます。しかし、以前よりも社会資源の種類が豊富になってきていると思うので、そのコーディネートやケアマネジャー等とどこまでうまくすり合わせていくかが大切だと思います。

矢野 MSWは患者さんの人生を左右するキーポイントにいます。だから、いろんな情報・引き出しを持っていないといけない、そう思います。

MSWに求められている役割も増えて、重責の中で支援をされているんですね。

矢野 その方の人生に関わることだから。無責任なことではできません。MSWが受け持った以上、患者家族の思いを聞いて、きちんと代弁していかないとはいけません。

米倉 病院なので、関わるきっかけは病や怪我。でも、そこから社会福祉的な課題は何か？を見定める目を持つことは必要です。人生の節目節目でMSWが話を聞いていけば、患者さんも安心して、次の人生の一步を踏み出せるようになるんじゃないかと思います。

連携は手段で目標ではない

他職種に向けて、一言お願いします。

米倉 連携を目標にせず、患者家族の望む安定した生活を支えていく手段として一緒に取り組んでいきましょう。いろいろ課題はあるけど、みんなで頑張っていきたいです。それぞれの職種が、半歩でもいいから、歩み寄れば、きっとうまくいくと思います。未来の専門職に向けても、協力して地域を作っていくんだという意識を持つことを、私たちから発信していかないとはいけません。

矢野 地域があるから病院がある。私たちMSWは、地域を見る目を養っていかないとはいけません。目標とすることは、在宅を支えているどの職種も同じです。医療と介護の連携、それが根底にないといけない事です。いろんな職種が手を取り合って、安心して生活できる諫早市を作っていきたいですね。

一人生に関わることを決めていく
だから患者家族に寄り添う
だから責任もある
頑張らないといけない
課題はいろいろあるけど
それをどうにかしていく
それが医療ソーシャルワーカー



姉川病院
矢野 忠

姉川病院・地域医療福祉連携課課長
社会福祉士
長崎県医療ソーシャルワーカー協会事務局長

在宅医療・介護関係者研修会を開催しました

9/16 落とし穴に学ぶ!居宅での服薬支援

こはく堂薬局管理薬剤師、池田理恵先生を講師にお迎えして、研修会を開催しました。

現場で「こんな時どうしたらいいだろう?」と実際によくある事例をもとにお話しただけなので、大変分かりやすく、すぐに実践できる内容でした。訪問してくださる薬剤師の方々も、市内にはたくさんいらっしゃいますので、薬のことでお困りごとがありましたら、ご相談してみてもいかがでしょうか?



10/25 ペイシエントハラスメントへの対処法 ~その理論と実践~

弁護士、福岡博隆先生をお迎えして、ペイシエントハラスメントについて、具体的な対処法も含めお話しいただきました。

ハラスメントには個人ではなく、組織で対応すること、コミュニケーション不足がハラスメントに起因することなど、学び、気づきの多い研修会となりました。



令和3年度 第1回 在宅医療と介護の市民講演会を開催しました

多良見地区にお住まいの方を対象に、たらみ図書館海のホールで開催しました。

杉山先生からは在宅医療とはよりよく生きるため、生活の質を高めるための医療であるとお話がありました。また、河井先生からは歯科医も自宅・施設へ訪問診療を行い、診療から口腔ケア・リハビリまで行っていることを、三池先生からは通院困難な方へは薬剤師も訪問ができること、かかりつけ薬局・薬剤師をもち、気軽に相談してほしいというお話をしてくださいました。



1. 「ご存知ですか 介護保険」
市高齢介護課 中島梨奈 様・平野加奈 様
2. 「在宅医療ひそひそ話
~こんなこともやっています、訪問診療~」
すぎやま内科院長 杉山啓一 様
3. 「こちら歯科医院、出勤します」
かわい歯科クリニック院長 河井洋祐 様
4. 「通院が困難な方へ~薬剤師の在宅訪問~」
たらみタウン薬局 三池佳裕 様

Information

第2回 在宅医療と介護の市民講演会

令和4年1月29日(土) 14時~16時

長田みのり会館

講師：檀野 雄一 様(檀野医院)
原 美和子 様(ヒカリデンタルクリニック)
高崎 正磁 様(むつごろう薬局)

第5回 在宅医療・介護関係者研修会

令和4年3月開催予定

講師：吉田 知之 先生
(吉田内科クリニック院長)

他団体
主催

諫早市在宅ケアサークルお口の分科会例会 「コロナに負けないフレイル対策」

12月20日(月) 19時半~21時

講師：増山 隆一 様(諫早市歯科医師会)
下濱佐都美 様(諫早市歯科衛生士会)
秀嶋 敏和 様(介護老人保健施設恵仁荘)

かけはしの研修会も「主任介護支援専門員更新研修受講要件対象研修」として、修了証明書を発行するようになりました。主任ケアマネの皆さん、かけはしの研修会をチェックしてみてください。



諫早市在宅医療・介護連携支援センター かけはしいさはや

〒854-0061 諫早市宇都町29-1 健康福祉センター内
TEL: 46-3166 FAX: 46-3167
E-mail: isahaya.zaitaku.renkei@iaa.itkeeper.ne.jp
URL: <https://kakehashi-isahaya.com/>

